

子ども会とジュニアリーダー

In Junior Leader Community Center(<http://popup.tok2.com/home/jleader/>)

越谷市ジュニアリーダーズクラブ シニアリーダー
はっちー

1. 子ども会とは!?

わたしたちジュニアリーダーは、1子ども会と深いつながりをもっています。

子ども会の行事の手伝いをしたり、時には一緒になって遊んだりします。

では、ジュニアリーダーのことをもっとよく知るために、子ども会のことについて考えてみましょう。

小学生のとき、子ども会で、いろいろな行事に参加したと思います。

では、子ども会で、あなたはどんな活動に参加しましたか？

こんなものが出てきます。グループで話し合いをするといいでしょう。

クリスマス会・歓送迎会・もちつき・すいかわり大会

キャンプ・遠足

かるた大会・クラフト

少年野球・ポートボール

...etc.

今あげていったように、子ども会では、ふだんから様々な行事をしています。では、なぜ、「子ども会」では、こんな行事をしているのでしょうか。それは、子ども会には、よいところがたくさんあるからなのです。

構成員：学年がばらばら 仲良くすること・思いやりの心を育てる

地区で活動 自分の街を好きになる

遊ぶ ルールを作って守る

体力をつける

つまり...子ども会 = **遊び**...遊びから学ぶ

もちろん、「子ども会」という名前のとおり、**主役は子ども**です。たとえば、12月にクリスマス会があるなら、その前に子どもみんなで集まって、やりたいことを出しあいます。そして、ここにおとなの願いや意見を入れて、話をまとめ、みんなで準備し、クリスマス会を行ないます。これが、「子ども会」です。

もちろん、子どもだけで全部やるわけにはいきません。子ども達には荷が重すぎることがたくさん出てきます。そこで、おとな（これからは**育成者**と呼びます）に応援をしてもらいます。

では、自分の子ども会のことを考えてみましょう。

今あげたように、子どもを中心に行事をしたことはありますか。みんなで話し合ってみよう。

***地域によって異なると思いますが、講義を行なった地区では、「ほとんどない」という声がほとんどです。**

1子ども会とは

全国に約14万団体の単位子ども会があり、「子どもの手による」活動を展開している。会員は小中学生約600万人、指導者・育成者・リーダー約120万人の国内最大の社会教育団体である。

子ども会は、年齢の異なった子ども達が遊びを通し、さまざまな体験をし、仲間作りをすすめ、自然とのふれあいの中から、生命の尊厳を学ぶ、また、子ども達の活動を支援するおとなたちは、子どもを社会の子として認識し、すべてのおとなが、子どもが育つよい環境を作るよう運動する組織。

2構成員

全子連では、**就学前2年**（幼稚園年中）から**高校・同年齢**までを会員としている。このうち、中学生と高校生をジュニアリーダーとする。ただし、小さな子どもは話し合いに参加するのは難しいところもあるため、子ども会会員を、就学前2年から小学2年生までの**A年齢**（おもに、子ども会でいっぱい遊んで楽しむ）と、3年生から6年生までの**B年齢**（おもに、話し合って行事のことを考えたり、小さい子の面倒をみる）、中学生・高校生の**C年齢**（みんなの意見をまとめたり、面倒をみたりと、全体に目をくばる）の、役割別に大きく3つに分けることもある。

2. ジュニアリーダーの誕生

いま考えたように、現実はそのないうまくっていません。行事はおとなが1から全部決めて、子ども達は当日に「お客さん」として呼ばれて行き、お菓子を食べて、景品をもらっていただけ...という子ども会がほとんどかもしれません。

子どもたちに話し合いをさせても、話に関係ない方へずれたり、あちこちに動き回ったりして、話し合いがなかなか進まず、育成者のおばさんたちの中で決めてしまったほうがはるかに決まるのが早かったりするからです。

けれど、それでは子ども会のよさが発揮できません。やっぱり、子どもが主役の子ども会にしたいものです。

そこで、**ジュニアリーダー**が登場します。

ジュニアリーダーは、**中学生・高校生の子ども会会員**です。**子ども会のお兄さんお姉さん**として、小学生たちの面倒をみたり、一緒に遊んだりします。では、ジュニアリーダーのよいところをあげてみよう。

年齢が近い...

親近感（あ、おにいちゃんだ!!...なんて甘えてくる子がいる例）

興味や関心が近い（好きなものがわかる。ポケモン・うた・学校の先生の実態）

気持ちがわかる（どうしてほしいか...）

¹ジュニアリーダーの役割はそれだけではありません。たとえば、子ども達で行事のことなどを話し合いするときには、ジュニアリーダーが大活躍します。²班で話し合ったり全体で話し合うときに、みんなの話をまとめる**班長さん**や**会長さん**を助けたり、**困ったときに助言をしてあげたり**します。育成者さんたちとの話し合いでも同じです。

3. ジュニアリーダーに必要なこと

いろいろあげてきましたが、まとめると、ジュニアリーダーは**子ども会のお兄さんお姉さん**です。とくに、これからの子ども会は、年齢層が広がって、³幼稚園の子から子ども会員です。今まで以上に、ジュニアリーダーの役割は大きくなっていきます。

そうすると、ジュニアリーダーが知らなければいけない知識がいっぱいあるのに気づいたでしょうか。話し合いのテクニックや「聞き上手」になること。それから、みんなと楽しく遊ぶ方法などなど、いっぱいあります。これらを学ぶ場所が、今やっているような「**研修会**」なのです。また、活動していく上で困ったことや不安になったことを相談したり、うまくいったことを情報交換する場所が「**定例会**」です。

4. ジュニアリーダーとレクリエーション

ジュニアリーダーになると、よく「**レク**」ということばを使います。「レク」とは、ジュニアリーダーでは、「レクリエーションゲーム」や「レクリエーションダンス」のことをいいます（細かいことは別の機会で）。

ジュニアリーダーの中には、レクの技術ばかり磨いている人がいます。けれど、**レクは子どもと遊ぶ（またはジュニアリーダーみんなで遊ぶ）ひとつの手段に過ぎません**。ジュニアリーダーは、レクのことばかり考えて、他のことがおろそかにならないようにしましょう。

レクリエーションばかりに夢中になっているリーダーが多いところは、この点を強調するとよいかもしれません。

¹ジュニアリーダーの役割（全子連刊「Step up for Junior Leader's」より）

- ・子ども会員同士の仲間作りのよき理解者で、その中心となり活動するとともに、自らも成長する
- ・班活動や班長会議のよき理解者として適切な助言をする
- ・活動内容により会員と一体となり行動し、お兄さんお姉さん役に徹し、親近感を一層深める

²班をつくる意味

人数が多くなると、自分には関係ないと思って発言しない人や、逆に、ひとりでも話をしつづける人が出てくる。みんなが意見を出し合うには**10人以下のグループ**が一番よい。そこで、人数が多い集団では、10人にならない程度の班で、話し合いや普段の活動（通学班など）を行ったほうがよい。ジュニアリーダーはこの班長さんを助ける役割が期待されていて、全子連では、「**班にひとりのジュニアリーダーを!!**」と呼びかけている。

³幼稚園児から子ども会員

少子化で子どもの数が減っていることから、最近幼稚園児から子ども会員にしている子ども会が増えている。これに呼応して、全子連では、いわゆるジュニアリーダー全国大会を、「ジュニアリーダー保育体験事業」として、この年齢の子ども達のことについて学べるようにしている。

5 . のジュニアリーダーは!?

ここは、自分のジュニアリーダーでは実際にはどんな活動をしているかを書いてください。

6 . そうは言うけれど...

さて、今まで、まじめに「ジュニアリーダー」の基礎について語ってきました。これを聞いていると、「ジュニアリーダーって大変そう!!」と思うかもしれません。だけど、実際はそんなことはありません。

やっているうちに、いろんな学校の、いろんな年齢の仲間ができます。しかも、変な仲間ばかりです!!(失礼)でも、活動をしていくうちに、この仲間が、大切な仲間になります。子どもたちとふれあえます。いろんな行事があります。キャンプ、かるた、合宿、ウォークラリー、研修会...。笑ったり、泣いたり、怒ったり...いろいろあるでしょう。なごやかに、楽しみながら、でもまじめに。これが「ジュニアリーダー」です。

せっかくめぐり合えた仲間です。部活や塾で大変だけど、この出会いを大切に、ジュニアリーダー...やってみませんか?

最後に、今まで活動してきた人は「ジュニアリーダーになってよかったこと」を、これからスタートさせる人は「どんなジュニアリーダーになりたいか」を、書いてみよう。